

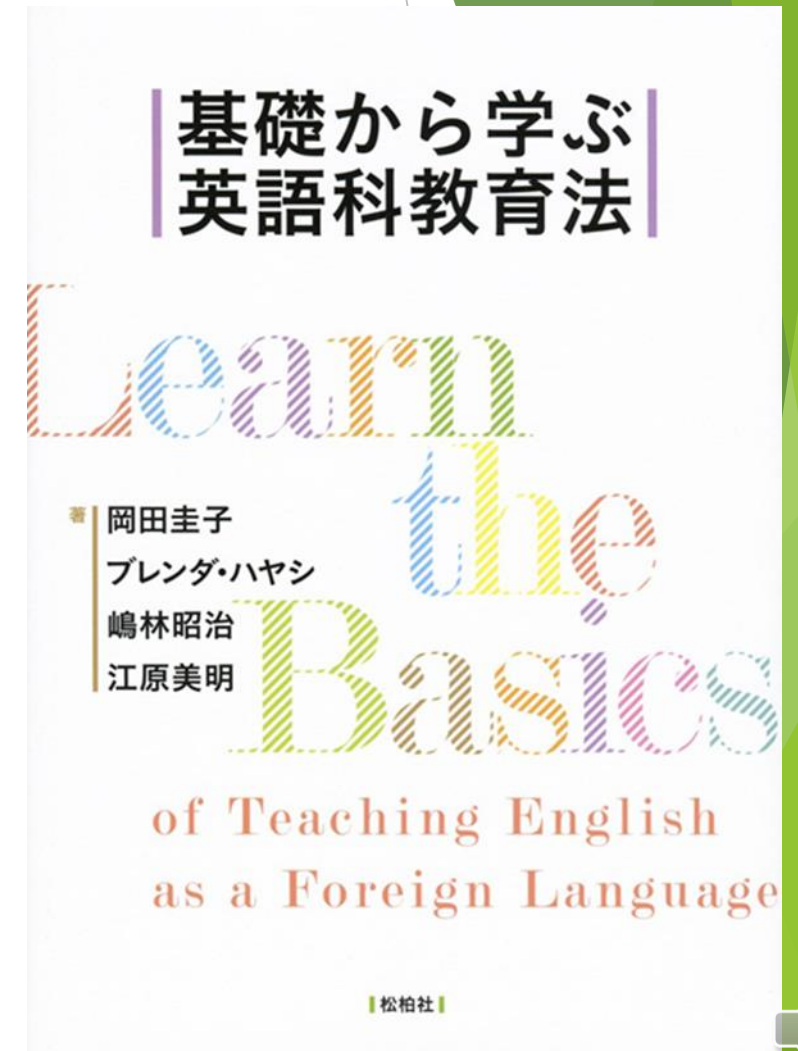
英語科教育法 I (第1講)

英語教育の目的



この講座で学ぶこと

- ▶ 様々な英語教育に関する問題点を考えてゆく。
- ▶ 15の講座に分かれている。
- ▶ 教科書は右に示された本を用いる。
- ▶ 英語を教えるとはどのようなことか。
- ▶ なぜ、英語を教えるのか。
- ▶ 例えば、日本人とネイティブとどちらが上手に教えられるか。



目次（英語教育の目的）

- ▶ 本日の講座(第1講)
- ▶ 英語科教育法
- ▶ 日本の語学教育
- ▶ 日本の英語教育の特徴
- ▶ 試験偏重の教育
- ▶ 教科書中心の教育
- ▶ 会話スキルの向上へ
- ▶ コミュニケーション重視の英語教育へ
- ▶ 資格英語
- ▶ 課題



英語科教育法とは

- ▶ 英語科教育法という科目には、その目的はいくつかある。
- ▶ 1つは英語という科目をいかに効率よく子どもたちに教えて、子どもたちが英語を運用する能力が向上することを旨とする。
- ▶ 次に、英語学習とは楽しいものであるということを知ってもらうことである。
- ▶ 次に、英語を学習して、授業外でも、自学して英語学習の楽しさを覚えてもらうようにすることである。自学自習の習慣を身に付けてもらうことである。
- ▶ まとめると、英語を教えるのではなくて、英語の楽しさを知ってもらい、英語を学ぶ方法を教えて、自分自身で英語を学んでいけるように導くことである。
- ▶ これらの様々な目標を英語学習を通して子どもたちに掴んでもらうことである。



日本の語学教育の傾向

- ▶ 国際語として、英語の重要性がますます高まっている。
- ▶ 明治期から昭和の前半にかけては、英語、ドイツ語、フランス語などの言語も学習が奨励されていた。この当時は、学問の言語として英独仏の3言語の存在があった。そのために、大学では第2外国語としての位置づけがあったが、次第に英語が中心的に学習されるようになってきた。
- ▶ 戦後は長らく中学校から外国語教育（主に英語教育）が始まっていたが、現在は小学校の3, 4年生から外国語活動が始まっている。
- ▶ 外国語教育と言っても、中等教育、初等教育の段階では、もっぱら英語の学習が行われている。
- ▶ 実用という観点から、韓国語、中国語、スペイン語を学習する学生も増えてきた。



西洋文化の取り入れ（開国から）

- ▶ 日本と西洋諸国との科学技術の差に驚き、できるだけ早く追いつこうとした。
- ▶ 目標としたのは、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツの学問技術であった。
- ▶ 分野は、軍事、外交、法律、政治、医学、土木、芸術、農学、化学などであった。
- ▶ 英語、ドイツ語、フランス語を介して西洋の学問を取り入れようとした。
- ▶ お雇い外国人を採用して、高等教育の場で教えた。その時は、教壇では外国人は自分の母語を話したので、学生もその言語で理解する習慣がついた。



試験偏重の教育

- ▶ 教員が学習者に一方的に教えるという教育であった。→試験偏重
- ▶ 試験志向の教育：日本の英語教育（高等学校）は一般的に、大学入試や資格試験への対策を重視している。このため、リーディングやリスニングのスキルよりも、文法や語彙の暗記が重要視されることがある。高校の授業中は大学入試問題の解説が行われることがある。
- ▶ 高校は大学入試、中学は高校入試を意識して英語教育が行われてきたと言われてきた。現在はその傾向は幾分か弱まってきている。
- ▶ 現在は実用的な英語を習得すること、英語を通してコミュニケーションすることへと方向が進んでいる。
- ▶ 現代では、生の英語に触れる機会が増えている。たとえば、直接に外国人と話す機会が増え、YouTube、サブスクリプションなどで実際の英語を聞く機会が増えてきている。



教科書中心の授業

- ▶ 教科書中心の授業：多くの学校で、英語の授業は教科書中心で進められてきた。文法や語彙の理解を中心においた伝統的な方法が一般的であった。これは読みを中心とする伝統的な学習法であった。
- ▶ デープレコーダーさえもなかった時代では、教科書に頼らざるを得なかった。
- ▶ しかし、近年はIT機器の発達によって次第に変わりつつある。
- ▶ 脱「教科書中心」の授業が今後の課題となる。



日本人の英語の力

- ▶ 国際的にみて低い。
- ▶ 日本人の英語はfunnyと見られることが多い。
- ▶ ハリウッドの映画での日本人は日本語なまりの英語を使って登場する。



なぜ日本は英語の力が弱いのか

- ▶ TOEFL等の成績をみても、日本人は英語のレベルが低いと言われている。
- ▶ 英語学習の必要性が少なかった。翻訳でほとんどの学問にアクセスできる。博士論文を日本語で書くことができる。例えば、原子力工学を日本語で勉強することができる。これらは旧植民地国では不可能なことであった。
- ▶ 他のアジアやアフリカの国のように植民地化されなかった。
- ▶ ヨーロッパ諸国の言語のように言語的に近しい関係にはないので、習得に時間がかかる。



英語の世界ランキング（まなびじんより）

世界ランキング

非常に高い

- 1 オランダ
- 2 オーストリア
- 3 デンマーク
- 4 シンガポール
- 5 ノルウェー
- 6 ベルギー
- 7 ポルトガル
- 8 スウェーデン
- 9 フィンランド
- 10 クロアチア
- 11 ドイツ
- 12 南アフリカ
- 13 ルクセンブルク

高い

- 14 セルビア
- 15 ルーマニア
- 16 ポーランド
- 17 ハンガリー
- 18 フィリピン
- 19 ギリシャ
- 20 スロバキア
- 21 ケニア
- 22 エストニア
- 23 ブルガリア
- 24 リトアニア
- 25 スイス
- 26 ラトビア
- 27 チェコ共和国
- 28 マレーシア
- 29 ナイジェリア
- 30 アルゼンチン
- 31 フランス

標準的

- 32 香港特別行政区
- 33 スペイン
- 34 レバノン
- 35 イタリア
- 36 モルドバ
- 37 韓国
- 38 ベラルーシ
- 39 アルバニア
- 40 ウクライナ
- 41 ボリビア
- 42 ガーナ
- 43 キューバ
- 44 コスタリカ
- 44 ドミニカ共和国
- 44 バラグアイ
- 47 チリ
- 48 インド
- 49 中国
- 50 ジョージア
- 51 ロシア
- 52 チュニジア
- 53 ウルグアイ
- 54 エルサルバドル
- 55 ホンジュラス
- 56 ベルー
- 57 マカオ特別行政区
- 58 イラン

低い

- 59 アルメニア
- 60 ブラジル
- 61 グアテマラ
- 62 ネパール
- 63 エチオピア
- 63 パキスタン
- 65 バングラデシュ
- 66 ベトナム
- 67 タンザニア
- 68 モザンビーク
- 69 アラブ首長国連邦
- 70 トルコ
- 71 モロッコ
- 72 バーレーン
- 73 パナマ
- 73 ベネズエラ
- 75 アルジェリア
- 76 ニカラグア
- 77 マダガスカル
- 78 日本
- 79 カタール
- 80 インドネシア
- 81 コロンビア
- 82 スリランカ
- 83 モンゴル
- 84 クウェート
- 85 エジプト
- 86 アゼルバイジャン

非常に低い

- 87 アフガニスタン
- 88 ウズベキスタン
- 89 シリア
- 90 エクアドル
- 90 ヨルダン
- 92 メキシコ
- 93 ミャンマー
- 94 アンゴラ
- 94 カメルーン
- 96 カザフスタン
- 97 カンボジア
- 98 スーダン
- 99 コートジボワール
- 100 タイ
- 101 キルギス
- 102 オマーン
- 103 タジキスタン
- 104 サウジアラビア
- 105 ハイチ
- 106 ソマリア
- 107 イラク
- 108 リビア
- 109 ルワンダ
- 110 コンゴ民主共和国
- 111 南スーダン
- 112 イエメン



小学校からの英語教育

- ▶ 日本では、長らく中学校から英語が必修科目であったが、近年は小学校から英語教育が始まっている。導入に当たっては、色々な論議がされた。
- ▶ 小学校の3, 4年生は外国語活動として、教科ではなくて領域と考えられている。
- ▶ 小学校の5, 6年生から教科化がはじまり、成績評価が行われる。今後は、さらに低学年から英語教育、そして教科化が始まる可能性がある。
- ▶ 英語教育の早期化：幼稚園や小学校での英語教育の導入が進んでおり、早い段階から英語に触れる機会が増えている。ただし、これには賛否がある。長い間、早期英語教育への疑問点が述べられたのは、それが言語能力の自然な発達に障害するのではという疑問からである。
- ▶ 産業界からの強い働きかけがあり、日本の国際競争力を回復させるためにも、早期英語教育の実施への強い働きかけがあった。



教養英語から実用英語へ

- ▶ 英語は人間性を涵養する、あるいは頭脳を訓練するツールと考えられていた時代もあった。現代は、実用英語への傾向が移動している。
- ▶ 英語教育大論争
- ▶ 1974年4月18日に当時自民党の参議院議員であった平泉渉氏によって自民党の政務調査会に提出された「外国語教育の現状と改革の方向」と題する試案に対して、その一年後の1975年に上智大学の渡部昇一教授が文芸春秋の4月号で「亡国の『英語教育改革試案』」を掲載したことによって始まった。
- ▶ 英語を実用英語としてみようとする平泉議員と教養英語に価値を見いだそうとする渡部教授との論争であった。



資格英語への重視が特徴である。

- ▶ 英検（英語能力検定）への重要視：英語の資格である英検が一定の評価を受けており、学習者はこれを目指すことが一般的である。
- ▶ さらには、企業向けのTOEICや北米への留学を目指す人向けのTOEFLなどが有名である。
- ▶ イギリス英語では、IELTS（アイエルツと読む）が有名である。
- ▶ 人間は抽象的なものには挑戦しにくくて、目に見える具体的なものを目標にした方が勉強しやすい。



課題

- ▶ 英語科教育法の目的は何か
- ▶ 日本の語学教育の歴史を簡単に説明せよ
- ▶ 日本人の英語力はどのような特徴があるか

